

STRAY CATS STRAY CATS

バンド・スコア復刻版 ストレイ・キャッツ 「涙のラナウェイ・ボーイ」

SHINKO MUSIC PUB.CO.,LTD.

Contents

RUNAWAY BOYS 4

涙のラナウェイ・ボーイ

FISHNET STOCKINGS 11

悩殺ストッキング

UBANGI STOMP > 19

ユバンギ・ストンプ

JEANIE, JEANIE, JEANIE▶28

ジニー・ジニー・ジニー

STORM THE EMBASSY > 36

嵐の中の大使館

ROCK THIS TOWN ▶ 45

ロック・タウンは恋の街

RUMBLE IN BRIGHTON > 55

ランブル・イン・ブライトン

STRAY CAT STRUT ▶ 68

気取りやキャット

DOUBLE TALKIN' BABY > 75

ダブル・トーキン・ベイビー

MY ONE DESIRE ▶ 83

マイ・ワン・ディザイアー

"CRAWL UP AND DIE" "WILD SAXAPHONE" は著作権の都合の上、掲載出来ませんでした。あらかじめご了承下さい。

RUNAWAY BOYS

涙のラナウェイ・ボーイ

Words & Music by Brian Setzer and James McDonnel

△でのパターンがこの曲のメイン・リフとなっている。このリフをまずはキチンと身につけてもらいたい。ギターはシャッフルのオルタネイト・ピッキングで弾くのだが、ダウン・ピッキングの方に充分アクセントを効かせてやるといい感じになる。6弦開放のE音は返しのアップ・ピッキングが、ついでに触れてしまうといった感じになればベストだろう。曲全体がミュート気味にプレイされているので、右手はブリッジに乗せた状態でプレイしよう。 ■ではダビ

ングされたもう1本のギターが登場。1人で弾く場合はどちらかを選ばなければいけないが、その際は上のパートがいいだろう。こちらはコード・フォームを利用したプレイだ。①のソロ・パート、13小節目からのアーム・プレイは、アームを持ったままのピッキングとなる。アームを下げた状態での音程はさほど気にせず、元のE音にしっかりと戻すことの方が大切だ。



















FISHNET STOCKINGS

悩殺ストッキング Words & Music by Brian Setzer

プレスリーの「監獄ロック」を彷彿とさせるナンバーだ。曲中のブレイクを上手く利用したアップ・テンポの曲調だ。 \triangle でのブレイクは、あくまでもヴォーカルに対して、バックの演奏を合わせるのがポイントで、メンバー同志の息の合わせ方を特に気をつけよう。 $9\sim10$ 小節目にかけてのコードE7の部分は、アルベジオっぽいギター・プレイであり、譜面中に具体的な音符は表記されていないが、5 弦 2 f (コードE7における5 度の音)は当然押さえておくべき。

念のためここで基本フォームを示しておくと、5 弦 2 f 中指、3 弦 1 f 人差指、 2 弦 2 f 薬指(この音はE7における13thのテンション)ということになる。[B] のギター・ソロ、アタマのフレーズは 2 弦の音がクロマチックに下がっていくパターン。 3 小節目の後半からは、1 弦を押さえる指をチェンジしなければならない(音自体は変化しないのに)ので注意しよう。



© by EMI LOGITUDE

The rights for Japan assigned to FUJIPACIFIC MUSIC INC.















UBANGI STOMP

ユバンギ・ストンプ Words & Music by Charles Underwood

マイナー・キーに於けるアップ・ビートのスリー・コード・ナンバー。イントロ2小節目及び、エンディングのコーラスは2パートの分かれているが、ここでは通常のコーラスに於ける3度や5度のハモリではなく、2パートの音程が2度(1音)と近いため、両パート共にお互いの音程につられないように注意が必要だ。ヴォーカルは同の12小節目、「EIの7小節目のウラ声の使い方がポイント。ウラ声自体の音程はそれほど正確でなくても良いが、前後部分との音程差が広いため、そのウラ声の前後部分の音程が正確になるように気をつけよう。ギターは2パートあり、「回のギター・ソロ以外の部分はギター1、2共にバッキング・プレイで、その2本のバッキングはそれぞれ弾き方が異なるので

注意しよう。ギター1は、8分のウラを全てアップ・ピッキング、つまり8ビート・カッティングの要領で弾き、ギター2は8分のフレーズをダウン・ピッキングのみで、つまり16ビートのノリで弾く(Al1、2小節目はアップ・ピッキング)。ギター1の8分休符部分は、開放弦の音も消さなくてはならないため、単に左手にフレットから浮かすだけではダメなのだ。8ビート・カッティングのダウン・ストロークの時に右手を、ブリッジとリア・ピックアップの間付近の弦上に当てて音を完全に消すように。また、ギター2の各拍頭のミュート部分は、1弦の音をほとんど鳴らさず、2、3弦の音のみが聴こえるようにピッキングをコントロールすると原曲に似てくるだろう。





































JEANIE, JEANIE, JEANIE

ジニー・ジニー・ジニー

Words & Music by Michael Donald Chapman

 ロはスピード感が命。国1小節目のようなフレーズはダウン・ピッキングのみでも、オルタネイト・ピッキングでも、各自やり易い方でプレイして良いだろう。ただし、ダウン・ピッキングのみで弾く場合、リズムがモタらないように注意。モタるくらいなら走ってしまえ!というくらいの気持ちで望むとノリが良くなるはずだ。勿論、サイド・ギター、ベース&ドラムのリズム・セクションはしっかりリズム・キープすること。ドラムは右手のライド・シンバルが結構速いリズムで叩くため、手首のスナップを柔らかく効かせて、スムーズにノリ良くプレイ出来るようにしよう。









C C7

Guitar I



yeah, yeah, yeah,

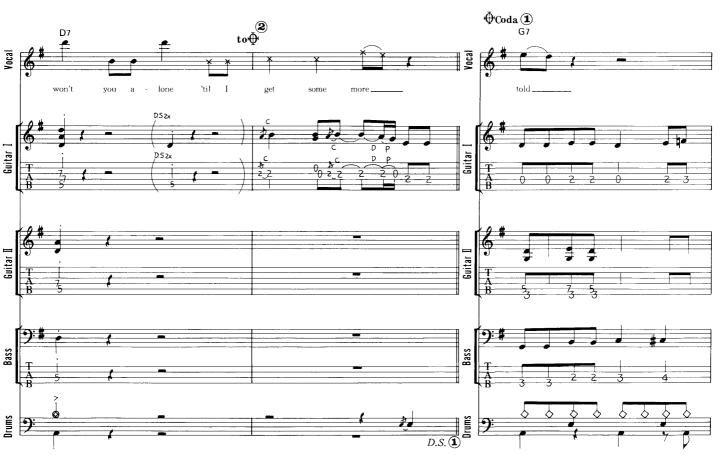
Yeah,_

yeah, yeah, yeah,

just_ just_ just_ G7





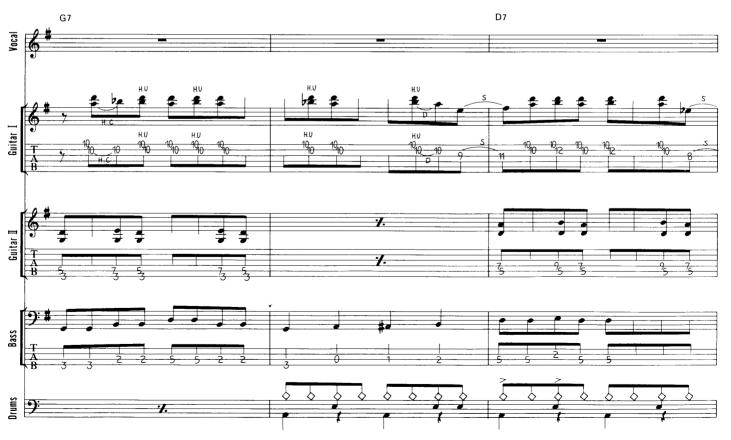
















STORM THE EMBASSY

嵐の山の大使館

Words & Music by Brian Setzer and James McDonnel

ストレイ・キャッツにしては珍しいストレートなビート(リズムがハネない)のタイトなナンバー。「AIの1~8小節間はギターのみによる演奏なので、あまりテンポにはこだわらず、ルーズにそしてワイルドなフィーリングを強調したプレイを心掛けよう。「BIのギターのバッキング・パターンがこの曲の雰囲気を決定するので、基本的にはルート弾きのタテノリでありながら、アクセントのポイントとそのニュアンスらしさが出ている。通常のリズム・プレイからすれ

ば、全ての8分音符はダウン・ストロークで弾くべきところなのだが、それでは原曲の雰囲気は得られない。そこでヒット・ポイント "高音弦でのアクセント"に限り、かき上げるようなアップ・ピッキングを用いるのである。全体的にミュート気味の演奏なので、可能だと思うし、4弦の音は登場しないのもその理由の1つである。



















ROCK THIS TOWN

ロック・タウンは恋の街 Words & Music by Brian Setzer

彼等の代表曲であるナンバー。国の7、8小節目のオブリ・フレーズは5 f のポジションにおける基本的なコード・フォームを利用したモノで、3弦6 f に中指、1、2弦に人差指で押さえた形で、余った指(通常、小指が最も使われやすいが)で変化をつけてやること。同様のパターンが頻繁に出てくるが、同じように対処してもらいたい。 [0]15小節目辺りにミュート・ブラッシングが表記されているが、この部分がたまたま強く聴こえるからで、その他の休符部

分でも、常に空ピッキングが行われているので注意しよう。シャッフル感を失わないオルタネイト・ピッキングをきちんと練習しておいてほしい。巨の7、8小節目で6度のハーモニー・プレイが出てくるが、2弦をきちんとミュート出来るようにすること。3弦を押さえた中指で4弦もミュートすると、右手のストロークにも余裕が出てくるので、覚えておいてもらいたい。

































RUMBLE IN BRIGHTON

ランブル・イン・ブライトン

Words & Music by Brian Setzer and James McDonnel

イントロでいきなり難しいコード・フォームが登場するが、押さえ方は5弦から中指、人差指、薬指。1、2弦は小指1本で押さえる。中指と薬指がタテに平行に並ぶように指全体をブリッジ側に投げ出す要領で行うといいだろう。 図のギター・ソロ、3小節目のQ.Cはクォーター・チョーキングのことで、これはテクニック云々というよりも、ブルース・スタイルのギター・プレイに於ける手クセと言えるものである。実際、音程を上げるのだが、半音以下の変化

しかないようなモノなので、音を実際聴いてニュアンスをつかもう。5小節目からのプリング・オフを交えた3連フレーズは、譜面を見ると3fから2fへのプリングになっているが、実際プレイする時は、開放へ向かっての連続プリングの感じで行うとやり易いだろう。このプレイ等は、応用の効くトリッキーなフレーズなので、是非覚えておこう。



© by EMI LOGITUDE
The rights for Japan assigned to FUJIPACIFIC MUSIC INC.













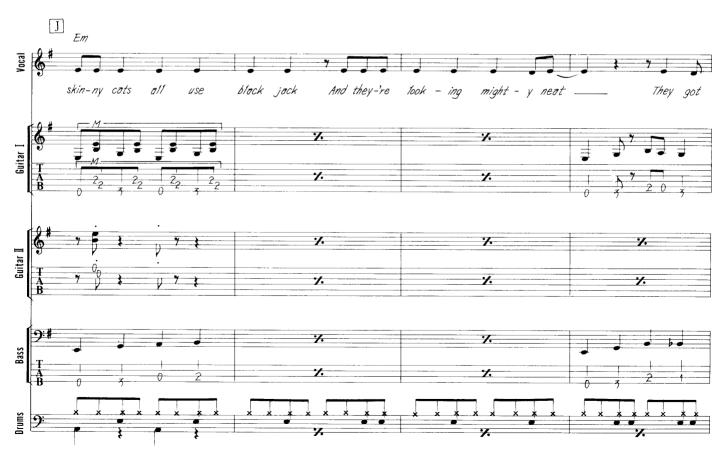


























STRAY CAT STRUT

気取りやキャット Words & Music by Brian Setzer

©でのコード・カッティングは、いわゆる"フォー・ビート"系のノリを持つストロークである。全体に大きくシャッフルしているオルタネイト・ピッキングでプレイしないと感じが出ないだろう。上手く弾くコツは、右手のストロークにあり、弾き方のポイントになることから、出来るだけ半径の大きい円を描くような感じでカッティングするといいだろう。ピックが上下に動くのではなく、右回りにぐるぐる回っている感じがベストだろう。ジャズなどではよく

出てくるテクニックだ。覚えておいて損はないだろう。[Kの1、2小節目でブラッシングを使ったプレイが出てくるが、これは左手のミュートと共に、右手のブリッジの上に手首を乗せた状態で弾くようにしよう。5、6小節目でも同様のことが言える。ピッキングは1弦に向かってほうきで掃くような感じで弾いてみよう。



© by EMI LOGITUDE.
The rights for Japan assigned to FUJIPACIFIC MUSIC INC.



















DOUBLE TALKIN' BABY

ダブル・トーキン・ベイビー Words & Music by Danny Wolfe

わらないように、気をつけよう。回5小節目は、アルペジオ・プレイの途中、4拍目に一時的に軽くアーミングしている。音程変化が半音なので、アームのダウンしすぎに注意しよう。ベース&ドラムはテクニック的には難しいことはないだろう。リズム・キープしつつ、スピード感を失わないようにプレイしよう。























MY ONE DESIRE

マイ・ワン・ディザイアー Words & Music by Dorsey Burnette

れとしてはコードB7のみ)を正確かつスピーディーに行うのがポイントだ。同じ部分のベースは、単音フレーズなので、フィンガリング的にはギターほど難しくはないが、その部分のリズムには注意を払っておこう。「①のアルベジオ・プレイによるギターはコードF#部分が難しい。ドラム&ベースはテクニック的には難しくはなく、リズム・キープをしっかりと行おう。































ISBN4-401-36125-3 C0073 ¥2600E *定価(本体 2,600円+税)





Reprint of BAND SCORE Series STRAY CATS "STRAY CATS"



RUNAWAY BOYS

FISHNET STOCKINGS

UBANGI STOMP

JEANIE, JEANIE, JEANIE

STORM THE EMBASSY

ROCK THIS TOWN

RUMBLE IN BRIGHTON

STRAY CAT STRUT

DOUBLE TALKIN' BABY

MY ONE DESIRE

